

○事業所名	星陵台放課後等デイサービスポニー		
○保護者評価実施期間	R7年2月1日		～ R7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (兄弟児1家庭あり)	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	R7年2月1日		～ R7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度について、保護者より高い評価を頂いた。	毎回楽しく来所出来るように、一人一人の児童の好みを把握し活動に活かしている。 また、個別支援計画を作成する時もご家族のニーズに添えるようにヒアリングやアセスメントを重要視している。	今後も更に、楽しく通える工夫を凝らしていきたい。 また、面談時のヒアリングもより丁寧に行いたい。 その他にも、児童やご家族の希望に添えるように努力したい。
2	適切な支援の提供についても、保護者より高い評価を頂いた。	職員の専門性を高められるように、外部研修の参加や職場内研修を積極的に取り入れている。 また、在籍している職員の保有資格が様々なので(理学療法士、言語聴覚士、保育士等)個別支援会議で、様々な角度からの話し合いが出来る。	今後も、職員の専門性を高め質の高い支援の提供を行えるように毎朝、朝礼を行いその日の支援内容を確認と周知を徹底したい。
3	非常時等の対応について、保護者・従業者ともに高い評価を頂いた。	地震・火事・不審者の侵入を想定した避難訓練を年に3回行っており、その都度職員間で振り返りをし改善点を話し合っている。その他、送迎ドライバーの安全運転研修、アレルギーや発作等の対応表の作成、応急処置の方法をまとめたファイルの作成等、日々安全管理に努めている。	安心して通って頂けるように日々努めているが周知しきれていない部分があるので、今後は周知も徹底していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者会・集団でのペアレントトレーニング研修・地域住民を招待する行事・認定こども園等との交流を開催実施できていない。	当事業所に通われていることをオープンにしていなかった。 (家族支援については、個別でしか対応していなかった)	今回の保護者アンケートを踏まえて、「保護者会や研修会があれば参加したいかどうか」について、アンケートを実施し、希望者の有無により今後の方針を決定したい。
2	活動スペースや生活空間の構造について、保護者より「わからない」「どちらともいえない」の回答があった。 また、従業者より「年齢幅があることもあり、机と椅子のサイズが合わないことがある」「必要な時に使用する個別の部屋がない」との意見があった。	ほとんどのご家庭がご契約前の見学時以降、教室内を見る機会がなく(面談時も相談室に直接案内する)ブログでの写真でしか確認出来ない現状が原因ではないかと考えられる。 また、ポニーの利用児童の年齢幅も近年広がってきている。	来年度より、事業所の引越して新たな教室になる事もあり、希望する保護者には教室見学をしてもらう。 引越に伴い、児童の特性に合わせて個別の部屋を用意する。 また、机と椅子の高さについては、足踏み台や高さを調整する補助具を使用する。
3	非常災害時の訓練や安全管理についての会議や研修について周知ができていない。	児童と一緒に避難訓練等はその都度連絡帳に記載し、毎年の自己評価結果にも記載していたが(HPに掲載)周知が難しい。 また、安全管理等の研修や会議は職員間で行っていたので保護者に伝えていなかった。	「自己評価結果をHPに掲載しました」と案内を出すのではなく、保護者会等のアンケートと一緒に自己評価結果をまとめたものを案内として出したい。 また、職員研修の様子もブログに掲載したい。
4	「第三者による外部評価」「自立支援協議会への参加」について、従業者より「いいえ」の回答があった。	巡回支援等で、外部からの評価を受けたり発達支援センター等の交流会や研修に参加しているが、基本的に児童発達支援管理責任者が対応していたので、全従業者に周知が出来ていなかった。	巡回支援やセンターへの訪問等の際に目的や内容を周知出来るように努めたい。
5	活動プログラムの立案や、支援前後の打合せを毎回支援後の記録を付ける際に職員間で情報共有をしていたが「朝礼」等専用の話し合いはなかった。	個別支援会議やケースカンファレンスを頻りにしているため、支援内容や活動プログラムの話し合いはそちらでしていた。	毎朝、職員で朝礼を行いその日のプログラムや支援について話し合いを行う。
6	「身体拘束」について従業者より「いいえ」の回答が3件あった。	現在、身体拘束が必要な児童がいない為。	身体拘束が必要な児童が今後利用した場合は、支援計画への記載と保護者の了承を得た上で行うことを改めて周知した。
7	「職員数の配置は適切であるか」「活動プログラムは固定化されていないか」について保護者より「どちらともいえない」の回答が1件あった。	職員数や配置については、規定数以上の職員を配置しており、毎年春に職員案内を配布しているが周知が難しい。 また、活動プログラムについては固定化しないように5領域に沿って立案しているが、個別支援計画に沿っているのと同じプログラムになっている時期もあるかもしれない。	保護者面談の際に職員や活動プログラムについてより詳しく説明するように努めたい。
8	「相談対応について整備されている」「日頃から子どもの状態を保護者と伝え合う」「定期的にHP等で活動報告を発信している」について保護者より「どちらともいえない」「いいえ」の回答があった。	保護者面談は最低でも半年に1回実施しており、日頃の様子も連絡帳にてお伝えしているが未熟な部分があるようだ。 また、定期的に日頃の活動をブログに掲載している。	ブログの更新頻度をあげる等を検討したい。
9	「こどもは通所を楽しみにしていますか」について保護者より「どちらともいえない」「いいえ」の回答があった。	一人一人のお子様楽しく通所出来るように努力しているが未熟な部分があるようだ。	全体的には、楽しく通所して頂いているお子様が多いが、全てのお子様楽しく通所出来るように工夫していきたい。